

UMBC 語学研修

2026年7月19日（日）～8月2日（日）

「UMBC 語学研修を終えて」

参加校（50音順）

青山学院横浜英和中学高等学校・英理女子学院高等学校
神奈川大学附属中学校高等学校・カリタス女子中学高等学校
関東学院中学校高等学校・北鎌倉女子学園中学校高等学校
サレジオ学院中学校高等学校・湘南白百合学園中学高等学校
逗子開成中学校高等学校・聖光学院中学校高等学校
清泉女学院中学高等学校・洗足学園中学校高等学校
捜真女学校中学部高等学部・桐蔭学園高等学校
桐蔭学園中等教育学校・横浜女学院中学校高等学校
横浜雙葉中学校高等学校



神奈川県私立中学高等学校協会

UMBC 語学研修に参加した二週間は、私にとって多くの学びや新しい発見のある時間となりました。現地で実際に英語を使って生活する中で、言葉が思うように伝わらず苦戦することもありましたが、それ以上に英語を通して人と関わる楽しさを感じることができました。特に印象に残っているのは、Conversation Cafe での現地の大学生との交流です。初めは英語で話すことに緊張していましたが、実際に会話をしてみると、思っていた以上に自分の英語が相手に伝わり、次第に会話を楽めるようになりました。言葉に詰まった時や相手の話を理解できなかった時にも、現地の学生が私のペースに合わせて丁寧に説明してくれたため、安心して会話を続けることができました。会話を重ねるうちに現地の学生と仲良くなれたことも、心に残っています。

研修中は言葉の壁にぶつかり、くじけそうになることもありましたが、先生方や現地の学生、仲間に支えられ、最後までやり遂げることができました。この研修を通して多くの人と出会い、失敗を恐れず挑戦することの大切さを学んだことは、私にとって大きな財産となりました。この経験を忘れず、今後の人生に活かしていきたいと思います。

今回の留学は、私にとって一生忘れられない大切な経験になりました。出発前は意外と緊張しておらず、飛行機にも落ち着いて乗ることができました。しかし、飛行機の中からずっと乾燥していて大変でした。アメリカに到着すると、「とうとう着いたんだ」と実感が湧き、とてもわくわくしました。今回の留学では寮に泊まりましたが、ベッドが高すぎたことも印象に残っています。

授業は思っていたより難しかったです。観光は馬鹿楽しく、いろいろな外国人と友達になることもできました。お店で注文するときは少し怖かったですが、英語で実際に話すことで、少しずつ慣れていきました。

一番印象的だったのは、最初に決められた「Cheese Potatoes」というグループでの活動です。このグループは本当に最高で、特に担当の先生は最高でした。先生は笑顔がとても素敵で、いつも明るく接してくれました。

ワシントンでの観光も最高でした。現金が使えない場所で困ったとき、優しい学生さんが奢ってくれるというハプニングがあり、人の温かさを感じました。最終日は、まさか自分が泣くとは思っていませんでした。途中までこらえていましたが、友達につられて泣いてしまいました。この留学を通して、たくさんの人と出会い、忘れられない思い出ができました。もう一度時を戻してでも行きたいと思える、本当に素敵な体験でした。

まずは今回の UMBC 語学研修を引率してくださった先生方、そして現地で私たちの学びをサポートしてくださったインストラクター、先生方本当にありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。

長いフライトを終えて初めてのアメリカに着いた時、新鮮な気持ちと好奇心でいっぱいでした。その後キャンパスに着いて最初に優しく温かい人たちだなと思いました。2 日目から始まった class は、少しだけ哲学チックなことを英語で学べて、とても有意義でした。ジェンガや UNO のゲームがあった事で、それを通して他の留学生やインストラクターと親しめて、とてもよかったです。class が終わった夜、ジムに行ってバレーボールを通して外国人とコミュニケーションをとり、実際のスピーキング英語を学びました。その後の class での、キャンパス内のハントと、外国人と一対一でお互い話し合ったことが心に残っています。外国人の日本人とは違う、マインド、考え方を学びました。そういった class を受けて、ジムに行ってスポーツをして、としてたらあっという間に週末でした。僕が行った航空宇宙博物館はとても興味を惹くもので、水族館も大きく、素晴らしかったです。その次の日の野球観戦は、延長

戦となってとてもいいところなのに、バスの時間の為帰ることになったのを覚えています。(笑)

week 2 になると、アメリカの政治学について学び始めて、その黒人の先生が強く印象に残っています。とても聡明でフィジカルも凄くて感心しました。授業の内容は日本語でも扱わないような深く掘り下げたものでした。州務長官の前でのスピーチも、緊張しましたがやりきれてよかったです。そうしていたらいつのまにか帰国の日になってしまい、名残惜しさと寂しさを抱きながら飛行機に乗りました。本当にこの語学研修を経て、日本では学べないようなことを知り、また大きく成長したなと思います。僕にとって忘れられないものとなります。改めて、本当に現地の方々、そして引率の先生方ありがとうございました。これを糧にして将来を描き歩んでいきます。

とても新鮮な毎日だった。UMBC は素晴らしい環境でした。現地の方々は皆親切だったし、とても充実したジム、緑の多い広々としたキャンパス、これらは私を生き生きとさせてくれました。

この語学研修のいいところは、似ている部分（例えば私立の学校に通っていることや、同じ分野に興味がある）を持ちながら、異文化をもつ人々とたくさん交流できることです。これは、自分とは少し違った文化を理解しながら、共感し、わかり会えるという、交流するのに素晴らしい環境であるということです。私もたくさんの方々と交流させていただきましたが、どなたもみんなとても親切な方々でした。私は他人、とくに女性と交流することに苦手意識を持っていましたが、今回のプログラムを通じて、親切な方々と交流することができたおかげで、人と交流することの楽しさ、大切さを知ることができました。日本では神経をすり減らすストレスの多い毎日でしたが、今回のプログラムで、生き生きしさや笑顔が戻った気がします。

そして、将来の夢に大きく近づくことができたと思っています。授業はもちろん、ご飯と一緒に食べる時間、同じ部屋で過ごす時間、仲間といっしょにバレーをする時間、どれもかけがえのない時間でした。みんなありがとう。

今回のこのような素晴らしい体験、時間を用意してくださった皆さん、交流してくださった皆さん、このプログラムに携わってくださったすべての皆さんに感謝を申し上げます。この度は本当にありがとうございました。この体験を活かして、世の中の人々に貢献できるようにこれから頑張っていきたいと思っています。みんな本当にありがとう。どうか素敵な旅を。

まず、私がアメリカの生活で感じた日本との違いでよいと思った点を紹介します。それは授業の仕方です。日本よりも参加型です。まず日本人 5, 6 人と多国籍のモデレーター 1 人のグループに分かれます。それでゲームをしながら英語を学んでいきます。ゲームをしているときに順番が回ってきたら、人についての身近な話題の質問をされ、それを英語で答えます。ここで私は、自分の英語力のなさを痛感しました。しかし、同時に人の温かさを感じました。私がうまく説明できないとき、日本人のメンバーが私のわからない単語を教えて手伝ってくれたり、モデレーターの人が頷きながらやさしく話を聞いてくれたりしました。

次にプレゼンテーションスキルの授業では、プレゼンテーションの注意点を教えるだけではなく、実際に先生やモデレーターがいい例と悪い例を行って、どちらがよいか投票形式にして教えてもらいました。参加型の授業は、楽しく授業に参加できるうえに、自分の弱点を見つけたり、それによって人の温かさに気づいたりすることもできます。

そして最後に、人の親切心を改めて実感した経験を話したいと思っています。私は、大学を回って写真を撮る授業が終わった後にスマホがないことに気づきました。それを先生に相談したら、一人のモデレー

ターの方が私と一緒に心当たりがあるところを全部走り回って、スタッフの人にも落とし物がないか確認してくださりました。そのあとスマホはリュックの中から見つかるという最悪な展開に私が謝ると「全然気にしないで！あなたのスマホが見つかったことがよかった！」と笑顔で答えてくれました。しかも、そのモデレーターの方とは一緒にグループになったことがなくほとんど接点がなかった私のために一生懸命スマホを探してくれました。これらの経験は私を強くしたと思います。現地の先生やモデレーターの方々ありがとうございました。

アメリカでの二週間の研修は、私にとってとても大切な思い出になりました。初めてアメリカに行ったため、とても緊張しましたが、それ以上に楽しみな気持ちでいっぱいでした。

大学はとても広く、緑が多く、池もあることに驚きました。また、他校の生徒との交流も楽しく、UMBC の学生とゲームをしたり、英語で会話をしたりしたことが特に楽しかったです。モデレーターの方々もとても優しく、フレンドリーで、困っているときに助けてくださったことが嬉しかったです。

研修の中で特に印象に残ったのは、オリオールズの野球観戦です。初めての野球観戦でしたが、音楽が流れたり、会場全体が盛り上がりたりして、とても楽しかったです。みんなでウェーブをしたり、声を出して応援したり、知っている洋楽が流れたときには、とても嬉しくなりました。また、食事を選んでいるときに現地の方が話しかけてくださり、おすそめを教えてくださいましたことも心に残っています。

この研修を通して、もっと英語を勉強したいと思うようになりました。英語で質問されたときに理解できず、悔しい思いをしたからです。この経験を生かして英語力を高め、将来は国際的に活躍できる人になりたいです。

私はアメリカでの2週間の生活や授業を通して、自分の考えを他人に伝えることの大切さを深く学んだ。アメリカの授業は日本とは違い、グループやクラス全体で話し合うことが中心となっているため発言の機会が圧倒的に多く感じた。

授業では答えが一つに決まっていない題材を扱ったため、みんなの意見がそれぞれ異なっていて面白かった。先生がどの意見も必ず肯定してくれたことで、最初は少なかった発言も私を含めて日を重ねるごとに増えていった。

私は以前、間違えることを恐れて人前で自分の意見を発表することに苦手意識があった。しかし、アメリカの授業では正解を当てることよりも、何を考えたのかを伝えることに価値が置かれていたため、次第に自分の意見を発言することができるようになった。

さらに、他人の様々な意見を聞くことで自分にはなかった新たな考え方や視点を知ることができ、異なる意見を柔軟に受け入れる重要性をも実感した。

この2週間で得た経験を今後の学校生活にも生かし、自分の考えを積極的に発信するとともに、他者の様々な考え方を尊重しながらより深い学びに繋げていきたい。

私は UMBC での語学研修を通して日本には得られない多くの学びを得ました。特に印象に残っていることは様々なアクティビティーや日常生活を通して感じることできた文化の違いです。私は二週間でインド、韓国、アメリカなど様々なバックグラウンドを持つ方々と国境を越えた交流をしました。国によって異なる、食事のマナーや挨拶、英語の発音のなまりなど、始めは戸惑いましたが、自分らしさを大切にしながら相手の文化も尊重することができました。この経験ができたのは UMBC が多様性を認

め合う環境にあったからこそだと感じています。

また、この研修を通してたくさんの友人と出会うこともできました。一緒に行く 30 人の仲間とはすぐに打ち解け、年齢の壁をこえて親しくなることができました。さらに、現地で会う学生とも友達になり、一緒にご飯を食べたり、ジムに行ったりとかけがえのない時間を過ごすことができました。この経験を活かして、異なる価値観を理解し尊重できる人に成長していきたいです。

最後に今回の語学研修に関わってくださったすべての先生方、家族、二週間を共に過ごした仲間に心から感謝申し上げます。

私は UMBC 留学を通して、たくさんの事を経験し、学ぶことができました。最初は初めての留学でみんな「初めまして」の人しかいない環境でとても緊張していましたが、この 2 週間で様々なことを学ぶことが出来ました。

特に印象に残ったのは海外の人たちとの会話です。Conversation café や field trip での交流で様々な国の人と話すことが出来ました。そこで国によって英語の聞こえ方が違うことや、文化の違いを知ることができ、自分の英語力も鍛えることが出来ました。また、日本語を学んでいる人との交流も楽しかったです。なぜ学びたいのか、日本で行きたいところなどを知り、日本愛が伝わり嬉しくなりました。

この 2 週間で積極性やコミュニケーション力を学びました。アメリカでは、知らない人に話しかけることが普通の事でためらいを感じないところ、授業で何かを聞かれた時に黙り込むこともないなどに日本との違いを感じました。もっと海外の人と話せばよかったなという思いもあり、これからはもっと積極的になりたいなと思いました。この 2 週間の経験を活かし、積極性やコミュニケーション力を伸ばして、世界中の人と交流できるようになりたいです。

『Stay weird. Don't change!』

最終日、記念にサインを求めるとこの言葉を先生からもらった。どのような意味なのかと尋ねると、「Strange と似ているよ」と言って変な顔をしながら笑っていた。日本に着いて調べると、「不気味な」とか「変な」という意味を持つようで、その時の顔が思い出されて笑ってしまった。

私は今回の UMBC 研修で楽しく過ごす中で多くのことを学んだが、特に感じたのは、自分から動くことの大切さだった。会話ではもちろん、自分のやりたいことがあったら察してもらうのを待っていては何も伝わらない。そこで察しの文化と言葉の文化と言われるような文化の違いを実感した。また、自分から動くには多少なりとも意思が必要である。たとえ他の人と意見が違い、独特であったとしても、恐れずそれを言葉に出し、伝える。それが自分自身を表現していくことに繋がっていくのだと思う。そして、先生のかくれた『weird』には、自分の考えを押し殺さないでという意味があったのかもしれない。

この 2 週間は色々な人と関わり、私にとって、とても楽しく最高の経験になったと共に、多くの学びを与えてくれた。この言葉と経験を今後活かして、これからも様々なことへ挑戦しながら自分らしい選択をしていきたい。

3 回目の留学として参加した UMBC 語学研修は、これまでの経験を深め、自身の成長と課題を見つめ直す機会となった。今回は英語力の向上だけでなく、異なる文化や価値観を持つ人々の中で関係を築くコミュニケーションスキルを身につけることを目標とした。

寮生活では、日本人の仲間と刺激を与え合いながら、現地の人々との交流にも積極的に取り組んだ。日常会話では、相手の表現や文化的背景を理解し、自分の言葉で伝える必要があった。思うように伝えられない場面でも、相手の反応を見て言い方を工夫し、会話を広げることで、意思疎通を続ける力を身につけた。

特に印象に残ったのはモデレーターとの関わりである。生活面を支えるだけでなく、私たちがコミュニティの一員として周囲と関われるよう支えてくれた。その姿から、自分の考えを伝えるだけでなく、相手の言葉や気持ちを受け止め、違いを理解しようとする姿勢が、良好な関係を築くために不可欠だと学んだ。

3 度目の留学を通して、英語は単なる知識ではなく、人とつながり、世界を広げるための手段だと実感した。今回の経験を今後の学業や活動に生かし、異なる背景を持つ人々とも積極的に関わっていききたい。

私は UMBC 語学研修を終えて成長できたなと感じたことが 2 つあります。

まず 1 つ目に英語を話すことへの恐怖心がなくなりました。UMBC で語学研修をする前の私は英語で話すことへの恐怖心がありました。しかし UMBC の先生、モデレーター、またレストランの店員さんやスーパーの店員さんと話していくうちに気がついたことが私の恐怖心をなくしてくれました。それはアメリカにいる人も全員英語のネイティブスピーカーではないということです。インド出身の方、ネパール出身の方などみんな第一言語が英語ではない方が多いことに気がついてから間違ってもいいから英語を話したいという気持ちが芽生え、恐怖心が 0 になっていました。

2 つ目は友達を作ることのハードルがとても下がったことです。UMBC 語学研修では違う学校の生徒がたくさん集まります。私は元々人間関係はとても慎重になる性格で、友達がとてもできるかとても不安でした。しかし 2 週間一緒に生活いくと学年関係なく大切な友達ができました。学んだこと、成長したことがたくさんあったこの研修に参加することができて良かったです。

この 2 週間の研修を通して、英語だけでなく異文化についても多くのことを学ぶことができました。最初は英語で会話することに緊張していましたが、授業やアクティビティを重ねるうちに、間違いを恐れず積極的に話すことの大切さを実感しました。また、グループ活動やプレゼンテーションでは、自分の考えを英語で伝える難しさを感じる一方で、相手に伝わったときの喜びも味わうことができました。

ワシントン DC やボルチモア、アナポリスなどを訪れた際には、日本とは異なる文化や歴史、街並みに触れ、多くの新しい発見がありました。現地の人々はとても親切で、英語が完璧でなくても温かく接してくださり、自信につながりました。また、2 週間寮で生活し、仲間と協力しながら過ごしたことで、自立する力や協調性も身に付いたと感じています。

この経験を今後の英語学習や学校生活に生かし、さらに積極的に英語を使い、自分の視野を広げていきたいと思います。

私がこの研修を通して最も学べたことは人との関わり方だと思います。

空港やショッピングモールはもちろん、寮や学校内も全て英語で、簡単な意思疎通すら言葉で行うのが難しかったです。でも、ボディランゲージを使ってみたり、笑顔で話しかけたりするだけでもある程度コミュニケーションが取れました。どうやって言葉にすれば相手を嫌な気持ちにせずになりたいこと

が伝えられるか、誤解を生まずに伝えられるかを毎回の会話で考えることが大変でしたが、先生やモデレーターの方と喋ったり寮生や店員さんと話してるうちに、違う言語でのコミュニケーションにも慣れてきて、相手の気持ちも汲み取れるようになりました。スピーチをする時も、日本とは雰囲気や流れが違ったりして少し困惑はしたけど、どうやったらみんなに聞いてもらえて伝えられるかを考えて、最終的に上手くいってすごく嬉しかったです。

日本に帰ってから何度かアメリカの方が良かったなとか思ってしまうことがあったけど、どっちがいいとかではなく、アメリカで学んだことを日本でも活かす事が大切だなと思います。人とのコミュニケーションは言語、場所に縛られないので今回の研修で学べたことはこの先のどのタイミングでも生きてくると思います。短かったけど最高に楽しくて学びも深い2週間でした。

UMBCでの留学を通して、私は英語力だけでなく、自分から行動することの大切さや自立することの大切さを学びました。留学の最初は、英語を間違えたり、失敗したりすることが恥ずかしく、積極的に英語を話すことができませんでした。しかし、グループワークなどの授業を通して、少しずつ自分の意見を英語で伝えられるようになり、以前よりも自信を持って自己表現できるようになりました。また、現地で生活する中で英語の発音も上達し、自分の成長を実感することができました。さらに、寮生活では家族と離れて生活することで、身の回りのことを自分で行うことや、自分で考えて行動することの大切さを学びました。最初は不安もありましたが、モデレーターの方々とも仲良くなり、たくさんの友達を作ることができました。

この留学で得た経験や出会いをこれからの学校生活や将来にも生かしていきたいです。

UMBCでの2週間の留学は、私にとって忘れられない経験になりました。最初は知っている人が一人もおらず、初めてのことばかりでとても緊張していました。しかし、毎日の授業やグループワークを通して少しずつみんなと仲良くなることができました。先生方もとてもフレンドリーで優しく接してくださり、授業が本当に楽しかったです。

日本にいと英語を話す機会は多くないため、毎日英語で話す環境があったことにすごく感謝しています。休日には水族館に行ったり現地の野球を観戦したりと、授業以外でもアメリカの文化に直接触れることができ、とても良い経験になりました。

最初は不安でいっぱいだった2週間ですが、今ではすごくみんなと仲良くなれて本当にこの留学に参加して良かったなと感じています。この留学を支えてくださった方々に心から感謝し、ここで得た学びを今後の学校生活などにしっかりと活かしていきたいです。

私は、2年前にボストンに短期留学したことがあります。当時、授業内での発言はできていましたが、その時はまだ「ノリに乗る」ことがあまりできませんでした。この研修に参加したのは、「ノリに乗る」リベンジの留学がしたかったからなのです。高三で参加したので今回は自分がムードメーカー的に動けたらいいなとも思っていました。

現地に着いて最初の週のモデレーターとのクラスではマイゴールを設定したり、恥ずかしさや価値観についてディスカッションしました。日本人の中でも違う学校というだけでいろんな考え方があることが話していて楽しかったです。また、初回授業で先生が話していた「人間らしい内容でディスカッションの授業をしよう」という考え方が素敵だなと思いました。現地で最初に感じたスピリットでした。

週末は自分でも超ノリに乗っていたと思います。特にボルチモアの野球観戦で会場の熱気をうまく乗りこなせたのではないかと思います。実は野球観戦に行くこと自体が初めてだったのですごくワクワクしましたし、その分帰るのが惜しかったです。

結果的に私はかなりポジティブな人間だったと思います。今度は個人的にアメリカにまた旅行したいなと思えるくらいの自信がついたと思います。

私はこの UMBC 語学研修に参加して大きく 2 つのことを学びました。一つ目は自分自身の英語のスピーキング力やリスニング力の向上で、二つ目は、失敗を恐れずに挑戦する姿勢を持ち続けることの重要性です。アメリカへ行く前から現地の人と淀みなく英語で会話できるとは思っていませんでしたが、それでもある程度は会話できると思っていました。しかし、実際にアメリカで現地人と会話をするとなったらうまく言葉が出ず、言葉を聞き取れず、最初は何も会話できませんでした。しかし、何度も授業や現地人との会話で、英語を聞き取り、話すことによって、アメリカ現地の人の会話の仕方やスピードに慣れ、最終日にはある程度会話をすることができるようになりました。そのために必要だったのは、英語をうまく話せないことの恥ずかしさや失敗への恐怖を捨てて、何度も挑戦することでした。

この研修を通して、英語力の向上だけでなく、自ら行動する勇気や、相手を理解しようとする姿勢の大切さも学びました。これからも今回の経験を忘れず、失敗を恐れずに挑戦を続け、世界で活躍できる人を目指して努力を続けていきたいです。

アメリカで過ごした 2 週間は自分にコミュニケーションと言語について深く考えさせられる経験になりました。

元々帰国生だったこともありそのためアメリカにいても問題なく過ごせると思っていました。授業ではグループに分かれて興味深いトピックについて話すことができました。そのときも英語ができると思っていたのでいつのまにか完璧に話さなくてはいけないという不安により発言するのをためらっていました。しかし、ある日のグループワークで私は「It is what it is」という言葉を授業で知りました。この言葉は受け入れて前向きに進むという意味があり、たとえ今英語を間違えたとしてもそこから伸びることができるという失敗を恐れなくなりました。

ある日授業後に現地の人たちがバレーボールをしていたので、一緒にやりたいと思いました。しかし、英語が伝わらなかつたらどうしよう、声かけるのが恥ずかしいと迷いました。それでも「It is what it is」という言葉を思い出し、勇気を出して声をかけると、笑顔で一緒にやろうと言ってくれました。

この経験から私は英語ができることとコミュニケーションはまったくの別物で英語はあくまでコミュニケーションするためのツールにしか過ぎず、それをどう使うかは自分次第であるということを痛感しました。

この研修は私にとって間違いなくかけがえのない経験になったと思う。

最初は不安でいっぱいだった。家族も友人も私のことをよく知っている人が周りにいない環境で二週間、ましてアメリカなんて当初は想像もできなかった。だが不安を抱えていたのは自分だけではなかった。友人は自分が思っていたよりすぐにできた。みんな一癖も二癖もあった。中国語を話せる人、面倒見がいい人、美人ですごい面白い人、メイクとダンスがうまい人。私たちは 2 週間という短い期間ではあったにもかかわらず、アメリカという異国の地で強固な友情を築けたと思う。普段の学校生活だけで

は会うことのなかった人たちと出会えた、それだけでも意味があるものだったと思う。

研修のプロジェクトも本当にためになったと思う。いうなれば実戦形式のものが多く、日常的に英語を使うという経験がなかった私には緊張もあったが楽しさもあった。だがまだ私には英語力が十分ではないことを痛感した。この研修で経験したことを活かしてもっと英語力を伸ばしまたアメリカに戻ってきたいと思う。

僕はこの UMBC 語学研修を経験して、たくさんのことを学びました。

1 つ目は英語のリスニング力とスピーキング力です。僕はもともとリスニングが苦手だったため、モデレーターさんの話していることを意識して聞きました。これにより苦手だったリスニングを克服できました。スピーキングでは、他の生徒や先生が使っている表現を吸収し、別の場面で使ってみることを繰り返しました。最終日にはモデレーターさんや現地の先生方と気楽に話せるようになり、自分の成長を実感できました。

2 つ目は外国人と話す時に自信を持って話すことができるようになりました。アメリカに着いたばかりの時は英語を話す時にとっても緊張していました。しかし多くの外国人と話すことを通して、正しく伝えることよりも伝えようとする姿勢が大事であることに気づきました。また、自分が言葉につかえても相手は笑顔で待ってくれるため、どんどんチャレンジしようと思いました。

このように、僕はこの語学研修を通して英語の能力だけでなく、英語におけるコミュニケーション能力を高めることができました。この研修で得た経験を必ずどこかで活かしたいと思いました。

今回の UMBC 研修を通じて、私は様々な貴重な経験を積みました。

この研修の良いところは何と言っても神奈川県私学の生徒たちが一同に参加するところであると思います。現に私は 2 週間全体を通して、異なる文化、環境に囲まれている同級生たちと交流し、他では得ることのできないような人脈を得ることができました。自分の学校の中に閉じこもっては得られないような友人と出会いました。それによって自分の学校中心の世界がいかに狭く、偏っているかを実感し、常に視野を広く持ち、世界を広げようと努力することの大切さに気づきました。今後、大学受験も迫り、将来のことについて考える機会も増えるため、高 1 の夏に自分を改めて客観視することができてよかったと思っています。

また、私は実際にアメリカの地で積極性の大切さを体で感じました。今までも積極性を学んだり理解する機会は多々あったのですが、現地の積極性にあふれる授業を体験して、それがいかに自分を助けるかを身を持って感じました。日本に戻ったあとも、積極性を忘れず主体的に授業や行事に参加したいと思います。

私は今年の夏、新しいことに挑戦してみたいと考え、UMBC 語学研修に参加することにしました。出発前は初対面のメンバーに緊張していたのですが、勇気を出して話しかけるとすぐに打ち解けることができました。現地では、知らない人同士でも笑顔で Hi ! と挨拶を交わし合う文化にとっても感動しました。

研修中は、授業、放課後や週末も仲間と支え合って過ごし、先生方、モデレーターの方々のおかげで思い出深い充実した 2 週間を過ごすことができました。

特に印象的な出来事は、とあるアクティビティで現地の中学生 2 人と話をした時のことです。最初、

緊張している彼らを見て、以前自分が話しかけられて嬉しかった経験を思い出し、今度は私のほうから質問を投げかけてみました。するとお互いの関心事に共通点が見つかり、会話は大いに盛り上がりました。最後には「一緒に写真を撮ろう」と言ってもらえたことが嬉しかったです。初対面の人に対する緊張や気恥ずかしさは万国共通ですが、笑顔で挨拶を交わせば世界中の人と繋がれるということを学びました。

この研修で学んだ「自分から笑顔で一步を踏み出す勇気」を、これからの出会いや学びに活かしていきたいです。

飛行機から降りてすぐ、入国審査でいくつか質問をされました。目の前の職員の方を向いたまま、隣のカウンターから聞こえてきた別の職員の質問にまで答えてしまい、一つの質問に対して「イエス」「ノー」と繰り返す挙動不審な人になってしまいました。そんな不安しかない状態から、私の 2 週間は始まりました。

英語力向上を期待して研修に臨みましたが、授業を受けているだけでは、自分の英語力の伸びをあまり実感できずにいました。でもある日、部屋の移動手続きのため寮の現地スタッフのもとへ一人で向かうことになりました。日本語でも難しい複雑なやりとりでしたが、相手が何を言っているのか理解し、自分が何をしたいのか伝えることができ、大きな自信になりました。

もう一つ印象に残っているのは、他校の先輩たちとの出会いです。自分の学校では部活以外で先輩とはほとんど関わりません。今回仲良くなった人たちには高 2、高 3 の先輩が多く、それぞれ自分の考えをしっかり持っていてかっこいいと思いました。

不安なスタートから始まったこの 2 週間で、日本で普段通りに過ごしていたら得られなかったような貴重な経験ができました。そして、純粹に楽しかったです。

私が UMBC 語学研修に参加した最大の収穫は、「挑戦」に対する価値観が大きく変わったことだ。英語のみで行われる授業やアメリカ人だらけの刺激的な環境の中で、自発的に動くことの大切さを肌で感じた。

特に大きな気づきは、「自分が動けば周りの環境が変わる」ということだ。日本語なら自在に表現できるが、英語では言葉が制限される。そんな環境で過ごすことで、完璧な文法や単語に拘らず、拙くても発言する勇気を得た。自分の英語が伝わらなくて暗い気持ちになることも何度もあったが、自分が一言発するだけでその場の空気が変わり、相手から反応が返ってくる感覚は、非常に新鮮で心地よい体験だった。

この「動けば変わる」という当たり前のような実感こそが、私の成長における重要な鍵となった。不完全さを恐れずに発信できた経験は、挑戦への心理的ハードルを大きく下げてくれた。帰国後の日常でも、この研修での経験を経たからこそ新しい行動へ踏み出せる場面が、数時間単位で起きている。この 2 週間は、単なる語学力の向上にとどまらず、今後の人生において主体的に挑戦し続けるための大きな原動力となった。

この二週間では自分の実力の認識、他校の生徒や現地の学生の交流などから多くの学びを得る事ができました。初日はこれから自分が今まで以上に英語を使って話さなければならないんだと思い緊張していましたが、日にちを重ねるごとに段々慣れることができました。二週間ちょっとで急激に伸びること

はないですが、単語が出てこなかったり言い方に不安があっても、自分の持っている英語力の範囲内で最大限言いたいことを表現することを学びました。伸びなかったとは書いたものの二週間で予想より自分の英語が実用的になったなとは感じました。私達日本人の英語教育というものは如何せん受験用の勉強になりがちな面がありますが、そうした堅実な学習が土台にあるからこそ、実際使う場面になっても引き出しを開ける感覚で英語を話すことができたなと思います。

また、留学前の課題は、発音と会話力が見合わないことでしたが、今はこの留学で少し改善されたと感じています。発音に関してはいくつか発見がありました。現地で触れ合った方の多くは先生ですので、きれいなアメリカ英語で聞き取りやすかった反面、学生や他国の留学生の中には声が小さい人や滑舌の悪い人など様々な要因で私の実力では聞き取れない方も少々いらっしゃいました。しかし現地の先生方や学生、日本の帰国生などは普通に会話していらしたので、その点できれいな英語に慣れすぎていたことに気付かされました。私達のように、英語が第一言語ではない人が大半ですし、実際に英語を使うとなると様々な訛りに対応しながら会話するシーンも増えて行くと思うので、やはり今回のような実体験を重ねて慣れていくことが大切だなと思いました。

個人的にこの二週間を生き延びるために役になった技術は、「どれだけ自然なレスポンスをするか」だったと思います。先生も学生もみんな日本人よりかは喋る方が多かったので、話していることが完全に理解できなくても、そこまで大事な話でなければネイティブのような返答と相槌をすることでなんとか沈黙を回避することができていました。しっかり話せていないではないかという事になってしましますが、日常会話はスピーキングテストではないのです。相手は試験官ではなくただの話し相手で、ただの人間なのだから、まずはその場の会話を楽しむことが大切だと学びました。そして、こう思うことで緊張もせず、より自然な会話ができていると思います。

このように、課題の発見やその改善策を模索できた濃く密な二週間で、博物館など観光も充実し、新しい友達もでき、非常に良い機会になりました！

この UMBC のプログラムを通して、私は対話の大切さを学びました。対話を通して相手のことを理解し、自分の意見を伝える、そしてそのために共通の言語を学ぶことも重要になると思います。

私たちは週の始めに個人で目標を設定し、なぜその目標なのか、それは実現可能か、どのように達成するのかということを考えました。そしてその週の終わりに目標は達成できたか、達成するためになにをしたかなど振り返りました。これを行うことで学習に対する目標意識が明確になったと思います。

はじめの一週間はグループに分かれて、様々なトピックについて学びました。ゲームをしながらした質問はときどき哲学的なものだったため、私たちはそのトピックについてより深く考えることができたと思います。

次の週の午前中には3つのグループに分かれて勉強しました。私は AI ethics のクラスで、後半に行った AI は良いのか悪いのかというディベートがとても印象的でした。

このプログラムで学んだ対話する力や、自分の考えを持って相手に伝える力は、これからさまざまな人と関わっていく上で大切な力だと思います。今回の経験を一度きりのものにせず、これからの学校生活や将来の学びにも生かしていきたいです。

UMBC 語学研修を通して、英語を通してのコミュニケーションへの意識を変えることができた。普段学校の授業では分かったつもりでいたのに、海外に行くと文法がごちゃごちゃになってしまったり単語が出てこなかったりすることが沢山あった。それなので初めの数日間は英語で話すことを不安に感じてい

た。しかし授業で先生が「私もスペルミスをする」とおっしゃり私たちを笑わせてくれたと同時に、第一言語が英語である先生でさえ間違えるのだから私も沢山間違えて沢山学ぼうと思わせてくれた。その結果、沢山の人と英語を通して会話をし、笑い合うことができて嬉しかった。

また、授業で教わった「It is what it is.」というフレーズも私を安心させてくれた。授業が終わった後は毎日のようにジムに行きバレーボールをしたり、友達とグループフィットネスに参加したりランニングをした。グループフィットネスで Barre と Ballet を同じものだと勘違いして参加し、友達とダンベルや重い棒を持ちながら 1 時間ほど運動する羽目になったのも、It is what it is だと思った。

他にも、最初はインド訛りのある英語の聞き取りが全くできなかったが、研修を通して少しずつ聞き取れるようになり成長を感じることができて嬉しかった。

週末の旅行も充実していて、ただ楽しむだけでなくアメリカの歴史について学ぶことも多く興味深かった。

この研修は一生忘れられない最高の思い出になった。

今回のプログラムでは、様々な学校の生徒と交流し、多くの刺激を受けました。空港で初めて会った時は友達ができるか不安でしたが、気づけば 30 人全員と打ち解けることができました。寮の環境や食事、日本と異なる生活にも最初は戸惑いましたが、次第に慣れ、毎日を楽しめるようになりました。

私は海外に住んでいた経験があり、英語ができることが当たり前と思われる立場だからこそ、自分はどういう周囲に貢献し、成長すべきか悩むこともありました。しかし、モデレーターの方々との連携や仲間を支える経験を通して、語学力だけでなく人間性も磨くことができたと感じています。最後のプレゼンテーション準備では、グループワークの難しさを実感する一方で、相手の考えに寄り添いながら全体をまとめることの大切さを学び、自分にできる役割を最後まで果たせたことが大きな自信に繋がりました。先生方やモデレーターの皆様の助言に支えられ、多くの仲間と貴重な思い出を築けたことに心から感謝しています。

この経験を与えてくれた両親への感謝を忘れず、今回の学びを今後に生かし、更なる成長につなげていきたいです。

学校から一人の参加だったため不安もありましたが、UMBC で過ごすうちに、その不安もすぐに忘れしました。

week1 では自発性が求められる授業が多かったです。積極的に発言することの大切さを理解し、これをきっかけに友達とも更に仲良くなった気がします。大学内や観光先ではたくさんのカルチャーショックを受けました。現地の物価、人々の見た目や考え方、食べ物まで全てが新鮮でした。楽しみだった野球観戦では全力で盛り上がりました。

week2 では、日本とアメリカの歴史について学びました。初めて触れる内容が多く、難しかったです。とてつもなく勉強になりました。大学構内にはジムがあり、ほぼ毎日通いました。そこで現地の友人もでき、共にスポーツをして交流できたことが嬉しかったです。最後の日、talk show を行った際、とても緊張しましたが、意外と楽しめました。

この 2 週間、アメリカ人の人間性や活気を通じて、私は自信と自発性の重要性を肌で感じ、少し身につけることができたと思います。この研修での繋がりと経験を今後も大事にしていきたいです。同行してくださった先生方、UMBC の皆様、本当にありがとうございました。